

【校訓】  
自律  
協働  
創造



学校教育目標

協働 自律 創造

「わたしの学校 みんなの学校 みらいの学校 小森江小」 ~自分を大事に みんなを大事に~  
Mission : 小森江つ子の未来を見据えた学びを通じて、誰もが幸せな社会づくりを目指し続け、実現しようとする存在となることを目指す  
Vision : 多様性を理解し、地域や社会の「持続的なより良い未来」を自律、協働、創造しようとして挑戦する子どもを育成する  
Value : 地域に根ざした心とグローバルな視野の双方を大切に、主体的に学び続けるラーニング・コミュニティを形成する

<国・市の動向>  
・学習指導要領  
・「元気発進！北九州」プラン  
・北九州市教育大綱  
・第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン  
・学力・体力向上アクションプラン  
・業務改善プログラム・人材育成基本方針  
・教職員支援プロジェクト・元気発進子どもプラン など

- 児童の実態  
→本校の教育課題
- 保護者・地域の願い
- 時代や社会の要請

学ぶ楽しさを実感する学校 地域に根差し世界を感じる学校 多様性を理解し文化を創造する学校

目指す学校像

「小森江小学校で学び、働き、通わせてよかったと思える学校」  
○児童が安全に安心して学ぶことができる美しい学校  
○さわやかな笑顔と挨拶が響き、清掃が行き届いた学校  
○保護者や地域と繋がり、信頼される学校  
○教職員がやりがいと誇りをもって、児童の成長のために「チーム小森江小」として取り組む学校

目指す児童像

- 夢を語り合い、お互いを尊重する子ども →自律
- 仲間とともに価値あることを創造する子ども →協働・創造
- 自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども →挑戦

目指す教職員像

- 信頼と責任と協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団
- 児童とともに感動、汗する教職員
- 児童の心の変化に気付き、信頼関係を構築できる教職員
- 高い専門性と使命感と情熱をもつ教職員
- 互いに研鑽し合い、専門職としての資質・能力の向上を目指すとともに、「チーム小森江小」の一員として自分の役割を果たす教職員
- 自分の家族や家庭のを大切にする教職員（ワークライフバランス）

4つの重点目標と具体的方策

1 子どもの【学び続ける】意欲を高め、個性を認め伸ばす教育の推進 3 子どもの確かな学力・体力【資質・能力】の向上 2 子どもの心の育ち【人間性】を促す教育の推進

☆子どもが主役の学校→小森江小新たな文化創造  
①多様性を基軸に多面的・共感的な児童理解に立った学校づくり  
・特別支援教育の考え方を基軸に：チームで見守る体制づくり  
・学び・挑戦したくなる環境構築：学校資源の活用・開放への挑戦  
②SDG s 未来都市を見据えた小森江の町に根ざす教育の実施  
・生活科・総合の時間を中核とした系統的な教育の実施  
③総合学習センターとしての学校図書館教育の推進  
・協働学習・読書推進に係る読書活動・広報活動の充実  
④「価値志向・集団参加・自己実現」を具現化する特別活動の充実  
・異学年交流の推進及び文化的活動を創造する児童会活動の充実（学習活動・委員会活動・代表委員会・係活動）  
・門司中校区生徒会・児童会との連携  
⑤健康・安全教育の推進（自助・公助・共助）  
・自らの命は自らで守るという意識向上を図る防災・減災指導推進  
・安全・健康：火災・地震・竜巻・豪雨等、状況に応じた指導等  
⑥持ち合い・専科指導を生かし、学校の教育力を高める。  
・担任・副任制、メンタリングOJTの推進

☆児童の未来を見据えた授業づくり（指導と評価の一体化）  
①メンタリングを活用した授業改善の推進（日常的な授業改善）  
・児童の多面的な理解・学校全体で児童を見守る体制づくり  
・OJTを活用した教師の授業力向上、新たな評価の在り方  
②人材育成・業務改善Pを一体とした組織的・計画的な取組  
・学び続ける子どもを育てる授業づくり：自己調整力を基軸に  
③「個別最適な学び・協働的な学び」の一層の推進  
・多様性を基盤とした小森江小授業づくりへの挑戦（KW：自己調整力、ICT、ユニバーサルデザイン、異学年）  
・思考スキルの活用と思考ツールの導入（ICT機器WBの活用）  
④家庭と連携した学習習慣・運動習慣等「学びの基盤」の充実  
・家庭学習習慣の定着と質の向上：自学ノートの取組  
・学力定着サポートシステムの活用・体力向上1校1取組の充実  
⑤自律（立）した学びを実現する取組（学習規律・学校環境）  
・児童会活動（門司中生徒会と連携）を活用した学習規律の徹底

①自己実現を目指す積極的な生徒指導  
・組織的・機動的な生徒指導体制の充実（近接学年組織を基軸）  
・いじめ（の芽）事案への速やかな対応  
・不登校傾向、「気にかけたい子」への粘り強い支援  
②自律した児童を育てる児童会活動の充実  
・学級会を基盤とした特別活動の充実（自分で考え、自分で行動）  
・自尊感情・自己有用感を高める学級経営→児童発の取組の推進  
・ポストコロナにおける異学年交流の在り方への挑戦  
・挨拶・清掃・奉仕的な活動の充実「奉仕と感謝の心でつながる」  
③思いやりの心の育成や規範意識の醸成  
・心に響く道徳科の授業づくり  
・支持的風土のある学級集団づくりを促進する学級活動の充実  
・非行防止、薬物乱用防止、情報モラル等の取組の充実  
④確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進  
・新版「いのち」、「北九州市子どもつながりプログラム」の活用  
・「明日への伝言板」等、人権作品を活用した人権教育の推進  
⑤誰もがそれぞれ満足できる多様性に対応する学校づくりへの挑戦

①【小中一貫・連携教育の推進】  
・児童生徒、教職員、教務主任、管理職のそれぞれで実現  
・小中合同研修会（教員相互の授業参観・チーム担任制の推進）  
・9年間の育ちを支える小・中一貫教育づくり

②【保護者・地域・関係機関との連携】  
・小森江小・門司中校区学校運営協議員との連携  
・学校からの情報発信の強化  
・地域・社会に開かれた教育活動の推進と充実  
・きめ細やかな保護者連絡、関係機関との連携

③【学校経営ビジョンの共有】  
・PDCA・OODAループサイクルの構築  
・学校経営に関する情報共有  
・具体的な目標設定「何をいつ、誰がどのように」  
・CSの推進：学校自己評価、学校関係者評価の充実

人材育成・OJTの充実 子どもの学びと心を「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」カリキュラム・マネジメントの実現 業務改善（ワークライフバランス）

4つの重点項目実現のために大切にしておくこと

①【危機管理体制・対応の徹底】  
<クライシス・リスクマネジメント>  
・危機管理の「さしすせそ」  
・「一つ上」の対応  
・「ほう・れん・そう・かく（報告・連絡・相談・確認）」  
・いじめ防止アンケート、教育相談の充実  
・特別な支援が必要な児童の個別の支援体制の充実

②【時を守り、場を清め、礼を正す】【動きやすい学校づくり】  
・教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。  
・不祥事撲滅（体罰・飲酒運転・ハラスメント・個人情報管理）  
・心と体の声を聴き、健康管理に努める。  
・ワークライフバランスの推進（時間は有限の資源 勤務時間意識）  
・選択と集中の徹底：質（目的と価値）を吟味し、精選する

③【教職員の協働体制の充実】  
・お互いの強みを生かし合うチーム小森江小（メンタリングOJT）  
・ベテランの知恵を継承し、若年の豊かな発想力を支援し、互いに学び合う風通しのよい職場づくり  
・目的性・計画性・即時性「まずはやってみよう」  
・危機意識『ヒヤリ』『ハット』の共有・改善  
・「当たり前」を疑い、常に改善する意識の向上



小森江小 未来の学校 プロジェクト ver1.0  
 ~ 未来×こども×小森江 ~  
 みんなで創ろう 「学びの好循環」

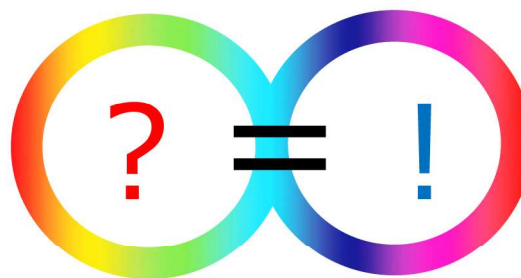


Let's have fun.  
 楽しもう

just do it.  
 まずはやってみよう

learn as you play.  
 遊ぶが如く学ぶ

the world is your oyster.  
 可能性は無限大



Autonomy  
 自律

Collaboration  
 協働

Creation  
 創造

Challenge  
 挑戦

○夢を語り合い、お互いを尊重する子ども

○仲間とともに価値あることを創造する子ども

○自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども

「わたしの学校 みんなの学校 未来の学校 小森江小」  
 ~自分を大事に みんなを大事に~

Mission : 小森江っ子の未来を見据えた学びを通じて、誰もが幸せな社会づくりを目指し続け、実現しようとする存在となることを目指す

Vision : 多様性を理解し、地域や社会の「持続的なより良い未来」を自律、協働、創造しようとして挑戦する子どもを育成する

Value : 地域に根ざした心とグローバルな視野の双方を大切に、主体的に学び続けるラーニング・コミュニティを形成する